

⑦③ 厚真富里地区災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業

受賞機関 北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部

キーワード 北海道胆振東部地震、大規模な斜面崩壊、多事業の一体的実施

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成30年9月北海道胆振東部地震で発生した大規模な斜面崩壊箇所の対策工事。浄水場背後斜面の残留土塊除去の先行実施に併せて宅地堆積土砂除去を北海道が代行したことから、近接する各事業が円滑に進んだ点や、地震災害復旧JVを結成できる制度を創設し、技術者確保に努めている点が評価された。

1. はじめに

平成30年9月6日にマグニチュード6.7、最大震度7（厚真町鹿沼）を観測した北海道胆振東部地震により、厚真町富里地区では約700mにわたり大規模な斜面崩壊が発生し、町の浄水場が被災したほか、高齢者生活自立支援センター及び人家5戸が全壊し、道道上幌内早来停車場線が埋塞するなどの被害が生じており、その後の降雨などにより崩壊が拡大し二次被害の恐れがあることから、災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業によって緊急的に斜面の安定を図った。

2. 事業の概要

厚真町富里地区は、新第三紀中新世の堆積岩である軽舞層と振老層を基盤とし、上面に第四紀完新世・更新世の樽前山の火成活動に由来する火山灰が広範囲に分布している地域である。地震発生により堆積していた表層土と火山灰の多くは崩落し、斜面の上端や尾根部には不安定な状態で土砂が残存していた。そのため、今後の降雨による崩壊地の拡大を防止することを目的とし、不安定土砂の除去、吹付法砕工・植生工による法面被覆などの二次崩壊対策を実施した。

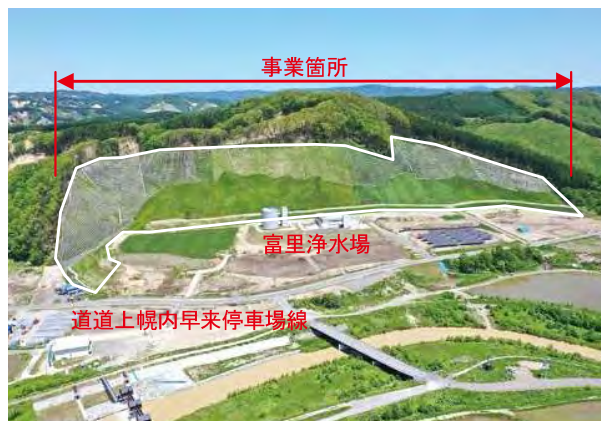


地震発生直後（2018年9月6日 撮影）

3. 事業の成果

当地区では、北海道が行う災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業による斜面对策及び公共土木施設災害復旧事業による道道上幌内早来停車場線の復旧と併せて、都市災害復旧事業による宅地の堆積土除去を厚真町から受託して一体的に実施することによって、浄水場の早期復旧が可能となり、地震発生から1年11ヶ月後の令和2年7月より給水を再開することができるようになった。

また、工事に当たっては、技術者の不足から入札不調による復旧の遅れが想定されたことから、技術者を広域的に確保し管内の復旧工事の円滑な施工を確保するために地震災害復旧工事特例共同企業体（地震災害復旧JV）を創設することで、円滑に復旧を進め、令和3年3月には本事業を完了することが出来た。



事業完了後（2021年6月9日撮影）

4. おわりに

本事業は、厚真町との連携などにより、事業採択から2年4ヶ月という短期間で完成することができ、富里地区の復旧を成し遂げることができた。

最後に、地域の皆様のご理解・ご協力や工事関係者の皆様のご尽力にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。